

# クラブ ファンタジーだより

No. 28 2002・4



「あいさつ」



会長 岡田 晴美

春の訪れが年々早く、岡田山の桜も、入学式の前に満開を迎えております。

クラブファンタジーは昨年、発足50周年記念コンサートを催すことが出来ました。この大きなイベントに原田学長、富川めぐみ会長、音楽学部の先生方もご出席くださり、出演者、そして準備に助力いただいた中村健教授、河野事務長のご努力で、素晴らしいコンサートになりました。この度の出演者だけではなく、随分多くの卒業生が国内は元より、海外でも活躍しておりますことは、誠に誇らしいことと存じます。

また大層嬉しいニュースは、昨秋、ノーベル賞を受賞なさいました野依良治名古屋大学教授が、M86村橋佳子様(ピアノ専攻)のご

実兄で、私達まで幸せな気分浸らせて頂きました。皆様と共に心からお慶び申し上げます。

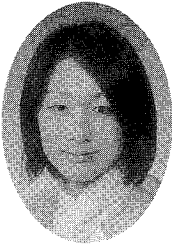
一方、音楽学部で、優秀な学生を育ててくださいました立派な旧師が天国に召され、世代の交替を感じさせられます。私の個人的な思い出ではありますが、原智恵子先生のフィレンツェのお宅に伺い、カサド先生とご結婚後のお幸せな一時に接し、ドイツはハンブルクでのコンサートでお二人の素晴らしい演奏も拝聴致しました。福沢アクリヴィ

先生の宝塚ホテルのお部屋に数人で伺って、夜おそくまでお話ししたのも、つい最近のように思えます。

山田康子先生とはヨーロッパでよくお目にかかり、フランクフルト、ワルシャワ、ザルツブルクなどで、一緒に食事を楽しみました。懐かしい思い出になってしまいました。

クラブファンタジーでは二年に一度、クラス委員総会をしておりますが、今年から初めての試みとして、昨年と今年の卒業生をお招きすることにしました。軽

## クラブファンタジー賞



119 細田 紗希(P)

春の香りが漂い始めると共に、不安と好奇心を胸に入学した四年前の光景がふと甦ります。今、神戸女学

院大学を卒業するにあたり、このような素晴らしい賞を頂戴致しまして誠に嬉しく思います。少人数での密な授業の中で御指導下さった先生方、事務職員の方々に深く感謝致しております。女学院の自然に恵まれた環境の中で、友人と共に励まし高め合い学ぶにつれて

普通科の高校に通っていた私は、音楽にどんどん魅了されていくばかりでした。そして人間としての視野も広くなりました。また、お世話になった先生が退任される年でもあり、感慨深い年となりました。この受賞を励みに、音を通じて自分を表現できる最愛の音楽を向上させる為に、自分を磨いていきたいと思っております。

食の用意を致しますため、役員が会議に没頭出来ないという理由で、学院内では致しておりませんでした。種々の問題の簡素化を計り、めぐみ会館(同窓会館)でさせて頂くことになりました。新しい卒業生が一人でも多く出席してくださいまして、クラブファンタジーへの理解を深め、協力していただけますことを願っております。

最後になりましたが、伝統ある母校の発展と、会員の皆様のご健勝を、心からお祈り申し上げます。

# 神戸女学院の雰囲気と友人達は 私の心のなかにとどまり続けることでしよう

ニキタ・ユジャニン

Nikita Yushman

1939年アゼルバイジャン、バクー市に生まれる。  
G. ネイガウスの薫陶を受け、サンクト・ペテルブルグ（レニングラード）音楽院でP. セレブリャコフに師事。同大学院で博士号（音楽芸術）を取得。更に国立演劇・音楽・映画研究で2つ目の博士号（芸術哲学）を取得。  
音楽院終了と同時に指揮を始め、1968年よりペテルブルグ音楽院、ゲネーシン音楽アカデミー、フィンランド工芸学校教授などを歴任、ペテルブルグ音楽院ではピアノ科主任教授を務めた。  
ピアニストとして世界各地でオーケストラと共演し絶賛を博す。又、マスタークラスの教授、内外コンクールの審査員として各国から招聘される。その他にもドイツ・ロシア・フィンランド・エクアドルで音楽祭を主催する一方音楽書の編集を行うなど、多彩で精力的な活動が高く評価されている。  
神戸女学院大学音楽学部では2000年4月より2年間、客員教授として学部生の指導を中心に貢献した。



神戸女学院の印象はいろいろありますが、まず校舎の建築の美しさと、洗練され落ち着いた雰囲気の良い整備された教室のピアノにいたるまでを含めた環境の良さは、創造性、ひいては高い芸術性を育てる可能性のために大事な条件です。ペテルブルグ、モスクワ、パリ、ロサンジェルスなど各地の多くの大学での指導経験を振り返ってみても、神戸女学院は理想的な環境を提供していると確信をもって申せるのは大変喜ばしいことです。正直なところ、

日本にこのような創造的なキャンパスが存在するとは以前には予想していなかったのですが、大学の私のクラスに来るのが毎日楽しみなほどでしたし、西宮の私の住まいから通うのも大変便利で、学校の休暇中に訪れた外国のいろいろな都市から帰ってくるのが非常に嬉しかったものです。  
音楽学部の先生方のそれぞれの個性と人柄の良さにも感銘を受けました。私の日本での生活のためにいろいろと助けて頂いたことにも大変感謝しております。また、残念ながら全ての方のコンサートを聴くことは出来ませんでした。たとえば池田先生、前中先生、音川先生、山上先生、齋藤先生等の大変よいコンサートがありました。比較的若い先生方のレベルも高く、皆さんのご指導の成果を生徒達の試験などでの演奏から聴きとることができました。若本先生や澤内先生は常に指導のクオリティーに大変気を配っておられました。

た。中村先生の指揮はもちろん、また田中先生も驚いたことにピアニストであるばかりでなく指揮者でもあることを示されました。他の先生方も、皆さんが非常に暖かくよい雰囲気をつくり出しています。これは各国の大学にもあまり例のないことです。  
学生の皆さんは音楽的感受性があり、中には可能性のある人がいます。内に持っている才能を即座に開花するのは、簡単な事ではないかもしれませんが、それは恐らく、大学に入る前までの基礎的な教育が、必ずしも最良のものではなかった場合もあるからです。しかし皆さんは将来にむけての大きな可能性をもっています。だからこそ私には、多くのことを、しかもクオリティーの高い内容を、これだけの短い期間で教えることができたのです。

教務、庶務等の皆さんにもお礼を申し上げます。河野さん、坂井さん、松浦さん。いつでも丁寧な、そして親切に、私のために多くのことをして頂きました。神戸女学院はさらにその名を高めるはずだと私は確信しております。おそらく日本だけでなく、将来国際的にもきつとそうなるでしょう。ですから私は客員教授としては今は「さよなら」と申しますが、永久にという意味では申しませぬ。国際的に通用する水準をお持ちの先生方を多数そろえている神戸女学院とは、将来国際的な場で、なんらかの創造的、芸術的な活動で協力することが可能だと思っているからです。  
この二年間、私はマスタークラスやコンクール、音楽祭などのために度々各国へ出かけました。しかしその度に神戸女学院へ、私のクラスへ、家へ帰るかのようにはっきりと戻って参りました。この雰囲気とここの友人達は、私の心の中に将来もずっととどまり続けることでしよう。

# 音を求めて四十年

教授 池田 洋子



クラブファンタジー便りで、これまで幾人かの諸先輩が「定年を迎えて思うこと」についてお書きになった記事を楽しく読ませて頂いてきたのに、この度、いよいよ自分の番となり、やはり地球は順調に回転していることを実感します。

さて机に向かつて想いをめぐらせると、神戸女学院大学に着任して早や三十四年の歳月が過ぎ、その間に世に送り出した多くの卒業生の顔が、想い浮かびます。

東京芸大ピアノ科在学中に渡仏、パリ・エコールノルマル音楽院で幸いにアルフレッド・コルトーに師事する機会に恵まれ、国際コンクールや演奏活動でのヨーロッパ生活五年、その後

二年の渡米生活を終えて帰国、さあ、これから演奏活動をしよう、と思っていた矢先、音楽学部からお招きを頂き、専任講師として着任することになりました。

当初は、こうして定年までお世話になるとは夢にも思っていませんでした。それまでは自分の演奏だけに集中していればよかったのに、いざ教える立場になると、一人一人異なった個性や弾き方をする学生の指導には戸惑うことも多く、先輩の先生方に悩みをご相談申し上げたことも多々ありました。しかしながらそれ

にも増して、良い素質の弟子に恵まれたことは、教えながら私自身学ぶことも多く、長くて険しい道ながら、楽しい音楽生活を続けることが出来ました。

昭和四十三年着任当時は音楽学部定員が三十五名だったのが、現在は四十七名に増員され、念願の大学院も設置することが出来、この春には音楽修士が誕生するまでに発展して参りました。

た。

二十一世紀は感性と心の時代と言われております。同時多発テロ以来の世界政治・経済が激動する社会の中で、人の心に感銘を与え、和ませる音楽芸術の価値は、不変でパーフェクトです。

どんなに科学技術が進歩しても、ITネットワークが発達した世になっても、例えばモーツァルトやベートーヴェンの音楽は、演奏者の感性と心から生み出される音を通して、聴く人に感銘を与えるものと信じます。

キリスト教精神、すばらしい仲間の教職員、そして美しい自然環境の中で人生の大半を過ごせた私は、何と幸せであり、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも音楽の真髄を求めて、ますます研鑽を積みみたいと思っております。



## クラブファンタジー発足五十周年記念品贈呈

一九六二年に、D・ラーソン教授のご尽力で新館（音楽館ホール、図書館など）が出来てから約四十年が経ちました。音楽館ホールの椅子も傷んで参りましたので、学校側の意見も伺い、この度、クラブファンタジーの発足五十周年を記念して、新しい椅子二五〇脚を寄贈させて頂きました。

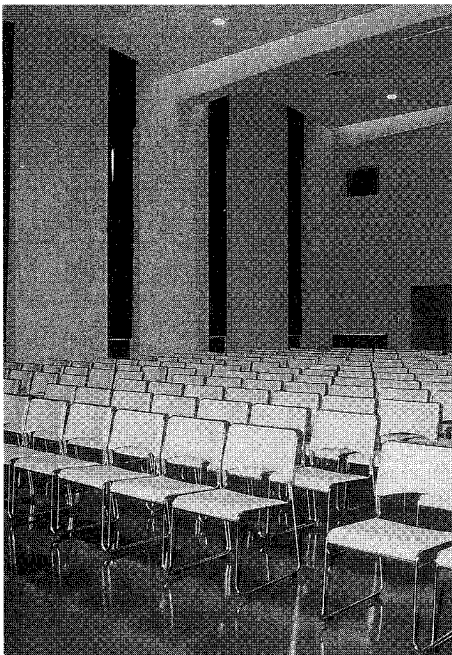
これは皆様方の会費、寄付などの積み立てから使わせて頂いたものです。壁や床の色とマッチする

ように、また座り心地のいいものをと、役員で相談し、選びました。皆様にもご満足いただければ幸いです。

このような寄贈ができたことをご一緒に喜びたいと思います。

公開レッスンや、お昼休みに行われる四年生のソロリサイタルなどは、学生以外の方々でもいつでも聴きに来て頂けます。是非皆様、機会を見つけて、思い出の残る音楽館ホールにいらしてください。

（椅子を選ぶに当たり、M100森本隆子様のご夫君にご尽力頂きました。感謝申し上げます。）



発足50周年記念

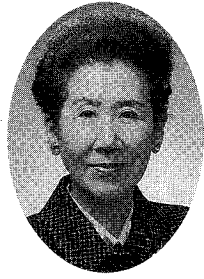
クラブファンタジーの夕べを振り返って

昨年のクラブファンタジーの夕べは、11月1日休まずみホールにて発足50周年を記念し、初めて管弦楽の伴奏で開催致しました。出演者それぞれの好演に、満員の客席からいつまでも拍手の鳴り止まぬ演奏会でした。卒業生41名を中心に編成したフェスティバルオーケストラ（総勢60名）の見事に呼吸の合った演奏も意義深い事でした。皆様の多大なるご協力に心より感謝致します。今後も意欲的に、更に充実した演奏会へと発展させていけます様、ご支援をお願い致します。

輝く集積とご発展

神戸女学院大学学長

原田 園子



られる独奏・独唱者の方々、オーケストラメンバーの皆様一同が神戸女学院大学音楽学部におかれまして学生として其々の才を研かれ、ご卒業後はさらに研鑽を積みまれば、奥深い音楽の世界でご活躍の事を思い、つづ喜びの感をあらたに致しました。

クラブファンタジー発足五十周年記念演奏会のご成功、心よりおめでとうございます。また、その折には大盛会の会場で特等の席を頂戴致しまして、恐縮致しながらも遠慮なく存分に素晴らしい演奏による音楽の世界を楽しませていただきましたこと、あらためて御礼申し上げます。内外で高い評価を得てお

企画、準備され陰で支えられた関係者の皆様、そして会場を埋め尽くした聴衆の多くの同窓生の方々も、共に演奏会を成功に導かれるお喜びの思いを、舞台上の演奏者の方々と共に共有されておられたことと存じます。

感動をよんだ独奏・独唱者の方々とはもとより、その演奏・歌唱を支えられた伴奏・オーケストラメンバーの方々には、同窓生として演奏を共に作り上げるお喜びの思いに加えて、独奏・独唱者への先輩・同輩・後輩としての嬉しい誇りと支援のお気持ちを感じられたように思いました。

音楽の賜物を受けられ、学び舎を同じくされた皆様、音楽活動における協力と支援をされておられるクラブファンタジー。世代を越えて続くこのような活動が積み重ねられて、そのご成果が確実に遂げられておりますことにもあらためてお喜び申し上げます。同時に、今後のますますのご発展を、確信しつつ、期しております。

芸術の薫り高い演奏会

68 福田 素子

クラブファンタジー発足五十周年記念に相応しい企画を役員の方々が数年来、



検討を重ねてこられまして、遂にその演奏会が昨年の十一月一日にいずみホールで開催されました。

五人のソリストはいずれも海外で研鑽を積み、既に幅広く目覚ましい活躍をして社会的に高い評価を得ておられる同窓生、伴奏には会員主体に編成したオーケストラに指揮者黒岩英臣氏を迎え、予告通り豪華な公演でした。満員の聴衆は会



場全体の華やかな雰囲気にも包まれて、芸術の薫り高い音楽に熱心に聴き入りました。伴奏の音量をもう少し抑制されると良いと思う時もありましたが、みなさんご熱演でした。殊に声楽の方々の歌曲とアリアには魅了されて、興奮さめやらぬまま家路につきました。

クラス委員の方々の声

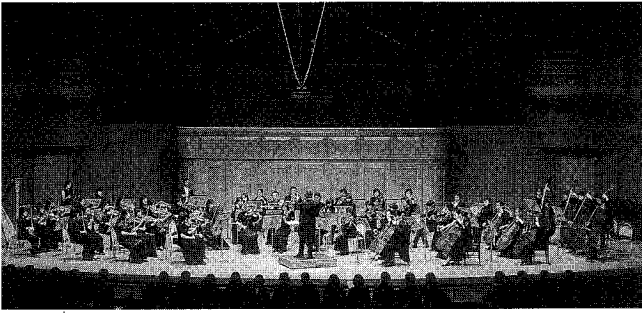
(アンケートより)

- \*プログラムの構成、選曲もよく、良い演奏会だった。
- \*曲や楽器もバラエティに富み、素晴らしい出演者の方々がそろわれ、とても楽しく聴くことができた。
- \*出演者、曲目のバランスも調和がとれていた。

オーケストラに参加して

84 蓮江 久美子

秋の陽光に映える懐かしの母校に集まり練習が始まりました。コンサートミストレスの松永みどりさんを始め、各パートのトップをプロとして活躍中の卒業生と講師の方々が勤めて下さり、曲想、テンポの緩急も順調に仕上がっていききました。実は、西宮市の阪神大震災追悼コンサートで市民が



モーツァルトのレクイエムを歌う企画に、神戸女学院の卒業生でオーケストラを編成してほしいと依頼され平成九年から四年連続出演し、意義深い活動を続けて参りましたが、企画が変更となり、残念に思っていたところでしたので、大変嬉しくワクワクしております。いよいよ当日開演し、一曲目の各小節が進むうちに、指揮者の表情も「いいよ、いいよ」という風に見えてとれ、いい音楽を皆で創っている実感が湧いてきました。どのソリストも大変素晴らしく、舞台と客席が一つに溶け合っただけ感動的なコンサートとなり、参加出来た喜びで胸が熱くなりました。企画準備して下さった方々に心から感謝しております。

クラブファンタジーのタブ

発足50周年記念

2001年11月1日(木)

於：いずみホール

モーツァルト◆フルートとハーブのための協奏曲 八坂調 K.299  
W.A.Mozart/Konzert für Flöte, Harfe und Orchestra Cdur K.299

Fl: 安藤 史子 M102  
Hp: 神谷 朝子 M105

- I. Allegro
- II. Andantino
- III. Allegro

グリーグ◆ピアノ協奏曲 短調 作品16  
E.Grieg/Konzert für Klavier und Orchestra a-moll op.16

Pf: 野村 幸代 M102

- I. Allegro molto moderato
- II. Adagio
- III. Allegro moderato molto e marcato

\*\*\*

ロッシーニ◆歌劇「セヴィリアの理髪師」序曲  
G.Rossini/Opera "Il barbiere di Siviglia" ~ Overture

ヴェルディ◆歌劇「イル・トロヴァトーレ」より「炎は燃えて」  
G.Verdi/Opera "Il Trovatore" ~ Stride la vampa

M-Sop: 荒田 祐子 M97

ドニゼッティ◆歌劇「ラ・ファヴォリタ」より「おお、私のフェルナンド」  
G.Donizetti/Opera "La Favorita" ~ O mio Fernando

ドリーブ◆カディスの娘たち  
L.Delibes/Les filles de Cadix

Sop: 釜淵 祐子 M97

アリアビエフ◆ナイチンゲール  
A.Aliabiev/Nachtigall

サン＝サーンス◆歌劇「サムソンとデリラ」より「君が御声にわが心聞く」  
Saint-Saens/Opera "Samson et Dalila" ~ Mon coeur s'ouvre à ta voix

M-Sop: 荒田 祐子

ビゼー◆歌劇「カルメン」より「ハバネラ」「セギディリア」  
G.Bizet/Opera "Carmen" ~ Habanera, Seguidilla

團伊玖磨◆歌劇「夕顔」より「与ひょう、私の大華な与ひょう」  
Tomita/Opera "Mignon" ~ Je suis Titania

Sop: 釜淵 祐子

指揮 黒岩 英臣  
管弦楽 クラブファンタジー・フェスティバルオーケストラ  
コンサートミストレス 松永みどり M88

(4面末尾のつづき)



\*ソロに弦楽器がなかったのは、少し残念。  
\*オルガンの演奏も聴かせて欲しかった。  
\*出演者もそれぞれ個性を発揮され、女学院の音楽学部をアピールしていた。

\*コンサート全体がオーケストラ伴奏でなされたこと、殊に音楽をオケ伴で聴けたのは感激であった。  
\*それぞれのソロの集まった会場でなく、オケとの協演であった事も、華やかで暖かい印象で良かった。  
\*オケが良かったので、常設してはどうか。  
\*オケが伴奏として立派すぎ、ソロの音を消す事があり残念。ホールの大きさと合わなかったのではないか。  
\*盛り沢山のプログラムで終演が遅かったので、開演を30分早めたらどうか。

\*会場が大阪だったので、出かけやすかったです。  
\*料金が五千円は高いという声があった。  
\*チケットの各学年毎のノルマも仕方のない事と思う。又、お年を召した卒業生の方や小さな子供をお持ちの学年の方からは  
\*出来れば、子供を預けられる週末や休日の昼間にして欲しい。 等々：  
皆様、ご協力どうも有難うございました。ご意見は今後の参考にさせて頂きたいと存じます。

## 追悼



## 原智恵子先生のこと

M65・高橋 秋山 保子

原先生は戦前・戦後を通して絶大な評価を得られ、そのお名前を知らない人はいなかったと思います。

戦後の音楽学部は温室育ちと音楽界からいわれることもありました。ピアノの原智恵子先生、声楽では福沢アクリヴィ先生が教えに来て下さることに、大変な刺激が与えられました。

先生は演奏活動がお忙しいのでなかなか引き受けて頂けませんでしたが、ご自身神戸のお生まれであったのと、お母様が神戸女学院を卒業していらっしやるの

で、学校に親しみをおぼえられたようです。在校生や卒業生、そして外部の人々もレッスンを受けられることになりました。

豊かな個性とあふれるような音楽性をもって得意とされたロマン派、特にシヨパン、シューマンなどの演奏は今も心に深く残っています。

先生として大変きびしい半面、ユーモアたっぷりでお茶目なところがお有りの上、お人柄から暖かく熱いものをいつも感じました。

世界的チェリストのガスパール・カサド氏とご結婚後、イタリーのフィレンツェに住まわれるようになりました。

先生は既にヨーロッパ各地で演奏活動をされていましたが、デュオ カサドとしても、世界各国で「卓越したテクニク、人間的な暖か味にあふれた豊かな詩情」などと評されました。

カサドさんは原先生を大変可愛がられ、「チエちゃん、チエちゃん」の連発で、

私達は「またチエちゃん鳥が啼いている」とほ、えましく眺めたものです。

私がボストンにいました時、デュオ カサドの演奏会でアメリカに行くお知らせ下さり、ニューヨークへ参りました。

譜めくりを頼まりましたが、ご一緒に楽屋にいましたが、その時も「チエちゃん」鳥がずっとさえずっていたことを懐かしく思い出します。

そのカサドさんを急に亡くされ、原先生のお悲しみの姿は傍で見ていまでも胸が痛くなるような様子でしたが、その苦しみを乗り越えられ没後三年目に、偉大なカサドの名を残す「カサド国際チェロ・コンクール」を主催され、これは二年毎に行われるようになりました。

大変なご苦労があったと聞いておりますが、これまでに、有名なチェリストのミッシェル・マイスキーをはじめ、日本人も含めて入賞者の方達は国際的に活躍を

しています。

これを見ても、このコンクールが世界の音楽界で、いかに重要な位置をしめているかが分ります。

今は天上で、お二人仲よく久しぶりの再会をしていらっしやることでしょう。



## 福沢先生をしのんで

M58・高橋 畑 きみ子

今思い出してみると五十年ぐらい前のこととなります。現在のフェスティバルホールはまだなくて、その向かいにあった朝日会館で音楽関係の催物が行われていました。外国の音楽家の演奏会があることを知って、独りで出掛けました。大きな人なのにならや

な美しい発声で、フォーレ、ドビュッシー、プーランクの名曲を歌われました。私にとつては馴染みの薄い歌ばかりでした。フランスのメロディー、雰囲気につきり魅せられ、やっぱり外国人だなあ、と凄じい感銘を受けました。その方が福沢アクリヴィ女史でした。

当時音楽学部では学内に新しい息吹を取り入れる努力をしていましたから、是非福沢アクリヴィ女史にご指導頂きたいという気運が起こり、先生方のご努力によって女学院の特別教授(月一回のレッスン)になつて頂きました。

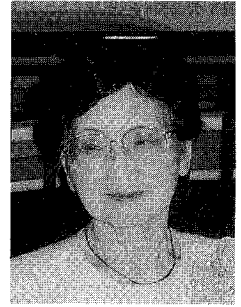
先生の母国はギリシャでしたが、声楽の勉強のためパリのコンセルヴァトワールへ留学されました。

丁度その時、パリへ留学中だった福沢諭吉の孫、福沢進太郎氏と国際結婚をなさり、音楽家福沢アクリヴィの来日が実現したわけですから、日本の音楽界の草分けとして、オペラにコンサートに活躍されました。又、

優秀な生徒を多く育て、彼女達も活躍しました。

先生のレッスンはたどたどしい日本語でしたが、言葉の壁を乗り越えて、音楽の心は生徒にしっかりと伝わり、先生のご指導を理解することが出来ました。

女学院で福沢先生のご指導を受け現在活躍している人達は大勢いますが、中でも毎日コンクール（現、日本コンクール）に第一位を獲得し、神戸女学院音楽学部の名を世に知らしめた方として、M77大槻道子（河辺道子）さん、現在活躍中のM97釜洞祐子さんなどがいらっしやいます。福沢アクリヴィ先生の女学院音楽学部への功績の偉大さに感謝しております。何卒天国から私達教え子を見守り、お導き下さいませ。



山田 康子先生

M68 酒井 和子

明治・大正・昭和・平成と四つの時代を生きてこられました先生が、平成十四年一月三十日の夕方、富士子先生のご帰宅をお待ちになつておられたかのように九十二才のご生涯を全うされ永い眠りにおつきになりました。

私と先生の出会いは終戦間もない二十年の秋でした。昭和二十五年、私が四回生の時に女学院にご赴任になり、私が先生の教え子の第一期生として卒業させて頂きました。その後三十六年間にわたって毎年大勢の生徒が先生のご薫陶を受けて参りました。

中学生・高校生に対しての先生のレッスンは、大切

な基礎を基本として楽譜の正確な表現を厳しく求められました。大学に入ると一人一人の持つ個性を大切にさせて頂きながら、いろいろな作品も自分自身の力で弾きこなし、自立するピアノリストへの道を拓けるようご指導して頂きました。

先生は「私は毎月の一には、バッハの平均律の二巻の一番をひいて、二日は二番……二十五日からはスムーズに弾けなかった部分を弾くの、あなたも実行しなさい」と激励しご指示して下さいましたが私はとても……でした。

先生には八十才を越えられても、なお、それをお続けになった由、毎朝九時より一時間はいつもピアノに向かわれたと、富士子先生より伺い、驚きと敬服の念一入のものがありました。心が広く、純粹で、人を信じ切つてこられた先生、晩年は童女のように無邪気だった先生。

シヨパン・コンクールやエリザベート・コンクール

など、時々先生の海外旅行の相伴もさせて頂きました。夏休みには、ウィーン・ザルツブルグ・ワルシャワなどへ勉強に連れて行つて頂いた多くの生徒さん達はどれほど貴重な思い出を共有させて頂いたことでしょうか。

先生はピアノのご指導と共に私達の心も育てて下さいました。親よりも長い間、恩師として仰がせて頂き先生を敬愛して参りました。それだけに今の寂しさは言葉で言い表せませんが、いつまでも私の心の中に生きていて下さると信じています。それぞれの人達にそれぞれの心を分かち与えて下さったすばらしい先生に、教え子として長いご縁を頂いた私は、本当に幸せ者と痛感しています。

どうぞ、いつまでも、どこでも、お見守り下さいますようお願い申し上げます。長い間ありがとうございました。

先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

永眠会員

58	西 良子	01	1	3
44	武藤 芳	01	4	25
80	日野 瑞代	01	6	3
56	星野多恵子	01	6	27
67	中岡 秀子	01	10	7
69	山本 公子	02	1	9
	原 智恵子	01	12	9
	福沢アクリヴィ	01	12	16
	山田 康子	02	1	30

(旧職員)

ご寄附

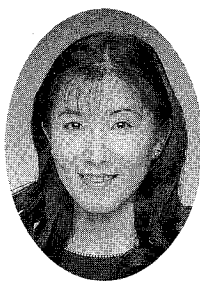
52 須藤澄様 (99年永眠) のご遺族からお申し出を頂き一〇〇万円。  
53 那須美恵子先生と62那須佑子様ご姉妹からクラブファンタジー発足50周年記念をお祝いして一万円。

118回の皆様から卒業に際して四〇九七六円。以上三件のご寄附を頂きました。厚く御礼を申し上げます。

同窓生訪問

アメリカでの日々

110 ユリ・マリア・サエンズ  
(旧 長谷川ゆり)



卒業してニューヨークへ渡ってから七年が過ぎました。頼る人もいない外国で、控えめな日本人のままではやっていけないと一生懸命自分を変えようと焦り、何度も諦めながらも、どんな舞台の魅力にひかれて行きました。ニューヨークに

は秋から春にかけて、全米の歌劇場のマネージャー達がオーディションをしに集まって来ます。学生でもチャンスが与えられるので、連日オーディションの話題と緊張感に包まれています。学校においてもこれらのオーディションに合格し、プロへの道を開くことを大きな目的として指導が行われています。外国人である私もチャンスに恵まれ、ニューヨークの劇場で憧れのジルダヤルチアを歌いました。昨年春には、六〇〇人の中からオーディションで選ばれ、「今バルチモアオペラで「もうもり」のアデーレや「ドン・ジョバンニ」のツェル

お慶び

次の方々を受賞なさいました。  
おめでとうございます。

- ・荒田 祐子 (97)  
平成13年度神戸市文化奨励賞。
- ・石井なをみ (97)  
トヨタ指導者賞。  
ピティナ指導者賞。
- ・森本 隆子 (100)  
2000年21世紀日本歌曲コンクール第3位。第2回万里の長城杯'国際音楽コンクール第2位。(1位なし)
- ・ユリ・マリア・サエンズ (110)  
第20回飯塚新人音楽コンクール第1位。2001年イタリア声楽コンコンソ金賞、イタリア大使杯。第37回日伊声楽コンコンソ第2位。

リーナを歌っています。

今秋、日演連の後援でいずみホールでのリサイタルをさせて頂くことになりました。また十一月には、リムスキー・コルサコフの「金鶏」の金鶏役でパリのシャトレ劇場でのデビューも決まっています。不思議なことにとこのオーディション会場に行っても実技試験の時にチャペルで緊張しながら順番を待っていた自分の姿を思い出します。神戸女学院の美しい暖かい雰囲気の中で勉強させて頂いた事が、私の大きな支えになっています。

和太鼓との出会い

92同期生 原 令子よしこ

職業は何かと聞かれた時、答えに迷うことがある。七十四年からデュッセルドルフに住み、八十九年から市立音楽学校の音楽教師を続けているが、最近になって私の生活に異変が起こった。九十六年の春に、知人に和太鼓の練習場へ半分無理矢

理連れて行かれ打つてみたのが運の尽き、その次の月にはメンバーとなり、初舞台はその二ヶ月後であった。



実際撥を握って打つてみないと和太鼓の魅力は分からない。もともと演奏会は聴くものではなく歌うものと思っただけなので、太鼓も面白そうだと思わなかった。

何故日本人がドイツで和太鼓？といわれることもあるが、日本にいればブームだったこともあり(流行モンが嫌いなので)、手をつけていなかったと思う。しかし、オペラやリートをドイツ人に教えている身には、ドイツ人に日本の音楽を教わることに対しての違和感は全くなかった。ヨーロッパにいると、日本にいるのとは違った目(耳?)で日本の音楽を捉えているかもしれな

い。事実、日本のリズムがとて新鮮に感じられる。和太鼓の魅力の一つに、舞台で自分の感情がかなりストレートに出せるということがある。昔、「ヨハネ受難曲」の演奏中に、自分が当事者(キリストの受難を实际見ている)のような気になってしまったことがある。歌い手が泣きそうになると客はしらける。演奏家は感情いっぱい表現して

も、語り部に徹しなければいけないと思知らされた。しかし和太鼓ではこちらがある程度乗っても客はついてくる。かえってモロに力を使う方が受けたりもする。今では歌の演奏会が年間六、七回しかないのに対し、和太鼓では昨年は四十回以上出演している。もしかすると、同じ演奏でも声楽家より太鼓打ちに向いていたのかもしれない。職業は？との質問には、声楽家ですと答えるであろうが、舞台の上で完全燃焼できる和太鼓も、自己表現の一つの手段として続けて行くつもりである。



卒業にあたって

119 氷見典子 (P)

この穏やかな春の日に、神戸女学院を無事卒業することができ、感謝の気持ちで一杯です。在学中に創立125周年という記念すべき年を迎え、「メサイア」と記念院歌を全員の気持ちをついに演奏することができ、またソロリサイタルでは一人の演奏家として舞台を創り上げ、本当に素晴らしい経験を見せて頂きました。音楽家として、また人間のにも尊敬できる先生方にアットホームな雰囲気の中で親身にご指導頂いた事は一生忘れることができません。また本学の掲げるリベラルアーツによって専門分野だけではなく語学や情報科学、キリスト教の精神など幅広く自主的に学べる環境の中で充実した四年間を過ごせたことは、これからの人生において大きな糧となることと信じております。最後に、お世話になった皆様方に厚く御礼申し上げます。

ハンナ・ギューリック

スエヒロ賞

119 横田麻依子 (P)

ハンナ・ギューリック

スエヒロ記念賞

(大学院)

114 115 119 院 院 院 榎 博子 (P)

クラブファンタジー 後援について



クラブファンタジーでは、演奏会をされる方の後援をしております。

ここに'01年度の後援状況をお知らせ致します。

今後、演奏会の後援を希望される方は、後援依頼書を、左記までご請求下さい。

84 蓮江久美子

2001年度 後援演奏会

1. 2人でうたう音楽会 (ジョイント) 山本 基子 (M100 Vo)	4月1日	12. 林光の歌がいっぱい 山本 基子 (M100 Vo)	9月29日
2. Solo と Duo の会 井澤 利とその門下生 井澤 利先生 松田真理子 (M91 P) 升井 知子 (M100 P) 菅 さゆり (M100 P) 松本素矢子 (M101 P) 氏田 敬子 (M101 P) 岩田麻由子 (M106 P) 村井 昌子 (M107 P) 岸田 京子 (M109 P)	4月22日	13. 田井申由幾子ソプラノリサイタル (M96 Vo)	10月7日 10月20日
3. Quatrain Concert est de KOBE 竹内久美子 (M116 Fl) 豊島 敦子 (M116 Vn) 山田 裕子 (M116 P) 土井美緒子 (M116 P)	4月28日	14. 田中潤子ソプラノリサイタル2001 (M94 Vo)	10月11日
4. 南祐子ピアノリサイタル (M86 P)	5月6日	15. 猪本隆メモリアルコンサート 釜洞 祐子 (M97 Vo)	10月23日
5. スプリングコンサート 竹山 陽子 (M117 P)	5月16日	16. 響の会第12回作品発表コンサート 丸尾喜久子 (M93 Co) 木村三奈子 (M96 Co) 田林須美江 (M96 Co) 大倉 恭子 (M102 Co) 大野 和子 (M104 Co) 村上 暁子 (M108 Co)	10月23日
6. 澤井幸子ソプラノリサイタル ~ハーブの調べにのせて (M81 Vo) 5月27日	5月27日	17. 杉原真理子日本歌曲リサイタル (M90 Vo)	10月26日 '02年2月24日
7. 氏田敬子ピアノリサイタル (M101 P)	6月21日	18. 室内楽の夕べ 前中 明子 (M77 P)	11月6日
8. ル・トレフェル チャリティーコンサート 山田 忍 (M74 P) 久保 啓子 (M98 Vo) 樺田真須子 (M105 Vo) 藤溪 優子 (M108 P) 玉川 文子 (M111 P) 片山恵以子 (M114 P) 國友 京子 (M115 Fl) 西田真由子 (M117 P) 添 光 (M117 Vn) 増永 淑子 (M118 P) 高浜 由衣 (M118 Per)	7月8日	19. 池田純子ピアノリサイタル (M102 P)	11月19日
9. 大川内玲子ピアノリサイタル (M87 P)	9月7日	20. 山田暢&内田博世ジョイントリサイタル 内田 博世 (M100 P)	11月22日
10. 第9回クライスコスモスコンサート 張 映里佳 (M107 P) 濱口真理子 (M110 P)	9月18日	21. Autumn Concert 森下 美和 (M116 P) 中村真紀子 (M116 P)	11月23日
11. 黒田育世チェロリサイタル (M115 Vc)	9月20日	22. 安藤史子フルート・リサイタル (M102 Fl)	11月26日
		23. 中村美生子ピアノリサイタル (M101 P)	12月9日
		24. 工藤真史ピアノリサイタル (M111 P)	12月13日
		25. 岩田朋子ピアノリサイタル (M100 P)	1月24日
		26. 舞曲の肖像 西村 喜子 (M79 P) 林 規子 (M100 P)	2月18日

M69 山本公子さん

朝日新聞惜別の欄に掲載された国際女子留学生センター館長

(一月九日召天 臍臓カシ)

日本の母と慕われて

69 梅舎 伸子

ハムちゃんと親しまれてきた彼女は、一九七〇年からセンターの働きに参加、アットホームな運営は信頼を集め、留学生が帰国後も彼女を慕って里帰りをして来る。留学生の為に私財を投じ、資金集めに奔走。暇な主婦の道楽とでも言いながら行政の幹部に「本当はそちらがすべき事なんです」とたんかを切り席を立てて来たことや、サリン事件の頃、留学生に勧誘の手を伸ばして来たオウム信徒を身をもって制して怪我をし、その後は警察の護衛なしでは外出できなかったことなどもあったようです。

それでも、「責任は全て私がとるわ」と笑って言う彼女、クラス会でもよくこの

話を聞きました。信念と愛に満ちていました。

学生時代のハムちゃんは悠悠自適でのんびり屋さんに見えましたが、納得出来ないことには徹底的にこだわり、一本筋の通った人でした。

告別式には、多くの参列者、世界中から弔辞がよせられ、彼女の身についたボランティア精神で多くの人を支えてきた愛に感謝し、安らかにと祈念しました。

公開レッスン・講座

学院内で催される公開レッスン・講座をお知らせします。新規に聴講希望の方は、お申し込み下さい。



関東支部だより

92 太宰 光子

二〇〇一年度関東支部総会は、5月22日、日暮里サニーホールにて約60名が参加して開催されました。

総会後は、岡田晴美先生を関西からお招きし、「クラブファンタジーの昨今」



と題して、興味深いお話を伺いました。卒業生を公開レッスンしていただいた後、先生のミニコンサートが開かれ、格調高くも和やかな雰囲気会場は包まれました。

今年度総会は、5月29日(水)同ホールにて開催致します。総会後は同窓生による演奏会を予定しております。又、関東支部には「ゆりの会」という発表、リサイタルの場があります。こちらへの御参加もお待ちしております。詳細は太宰までお問い合わせ下さい。

2001年度公開レッスン・講座

1. ミヒヤエル・クリストフ(ウィーン音楽大学教授)  
ピアノ公開レッスン 4月16日
2. 横溝亮一先生公開講座 5月21日
3. リナルド・アレッサンドリーニ(チェンバロ)  
レクチャーコンサート 5月30日
4. カルラ・ジュディチ(武蔵野音大客員教授)  
ピアノ公開レッスン 6月25日
5. コルネリア・ヴルコプフ  
声楽公開レッスン 10月9日
6. 野平一郎先生  
公開授業 10月11日
7. ウィリアム・ベネット(ロイヤル・アカデミー教授)  
フルート公開レッスン 10月22日
8. ビオトル・パレニチ(シヨパン国際ピアノコンクール副委員長)  
ピアノ公開レッスン 12月3日
9. 永竹由幸先生(昭和音楽大学教授)  
公開講演会 2002年1月7日

めぐみ会音楽教室からのお願  
めぐみ会では、音楽学部卒業生を講師として教室を開いておりますが、その講師希望者を一九九四年より公募し、登録して頂いております。

講師に欠員があった場合、その中から音楽教室委員会にて選考して決めさせていただきます。

応募資格  
本学音楽学部卒業生及び卒業見込みの方(四十五歳まで)  
ピアノ、オルガン、チェンバロ、ヴァイオリン、フルート、声楽専攻

詳細はめぐみ会事務所迄お問い合わせ下さい。

めぐみ会音楽教室  
コーラスへのお誘い

現在、54回の方を始めとして中広い年代の方々で、讚美歌や日本の歌などを、楽しく歌っています。皆様お誘い合せの上ご参加下さい。

指導・76桑田糸子先生  
日時・第二・第四金曜日  
午前10時30分~12時  
場所・甲東教会  
(阪急甲東園下車すぐ)  
お問合せ・87八木登子

02年度音楽学部教職員

〔専任〕

音楽学部長 前中 明子 教授77  
学 科 長 澤内 崇 教授  
学生主事 中村 健 教授

教 授 佐々由佳里 専任講師

授 ボリスベクテレン (P)

前中 明子 (P)

中村 健 (Cho Oich)

西 明美 (Vo)

西田 直孝 (Fl)

音川 紘一 (P)

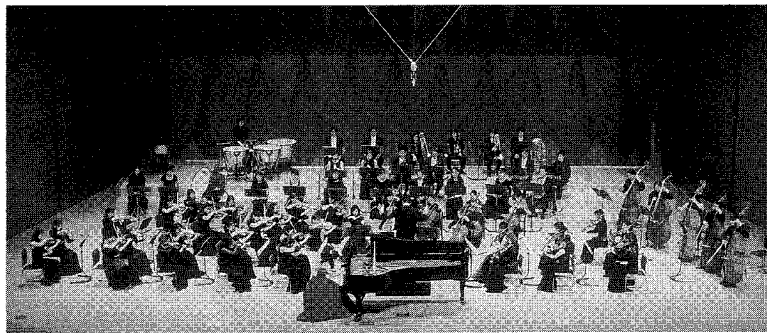
音楽学部定期演奏会

二〇〇一年度の定期演奏会は十一月二十八日、神戸国際会館こくさいホールで行われた。

ラフマニノフのピアノ協奏曲第2番が、指揮・田中修二教授、ピアノ・山本真理(研究科2回生)で演奏された後、一、二年生による合唱「木とともに人とともに」(三善晃)、三、四年生による合唱「キャロルの祭典」(プリテン)が、それぞれ本山秀毅講師、中村健教授の指揮で演奏された。

最後は、ムソルグスキー(ラヴェル編)の「展覧会の絵」(指揮・中村教授)で締め括られた。

入場者、約七五〇名。(音楽学部事務局)



2001.11.28(水) 神戸国際会館こくさいホール ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 山本真理 指揮 田中修二

客員教授 アンドレピクル (P) 茂木むつみ (コレクタ)

講 師 佐々由佳里 (P) 辻井 淳 (Vn) 橋 茂 (Vo) 石黒 晶 (Com) 山上 明美 (P) 若本 明志 (Vo) 津上 智実 (音楽学)

助 教 授 藤 言子 (Vo) 94 澤内 崇 (Com) 田中修二 (P) 坂井 紀子 (中高部)

事務職員 河野 有宏

藤川まり子

松浦 陽子

〔人事異動〕

坂井 紀子 (中高部)

〔新任〕

非常勤講師 池田 洋子 (P)

葛西 敏子 (ソルテジ)

北浦 恒人 (ソルテジ)

小谷 康夫 (打楽器)

松永 敦 (音声学)

根岸 一美 (音楽学)

春の新人演奏会

二〇〇一年度卒業演奏会(第119回55名)は三月四日(六日)、大学院音楽研究科一年次生による修了演奏会は二月二〇日、同研究科第一回修了演奏会は二月一五、二六日に、いずれも神戸女学院講堂で行われました。

本年度卒業生から選ばれた方達による新人演奏会は四月一七日(水)午後六時半よりいずみホールで、例年通りクラブファンタジー協賛で行われます。クラス委員を通じて入場券をご依頼申し上げますので皆様よろしくご協力下さい。(入場

大野 和子 (ソルテジ) 104

ト田 隆嗣 (民族音楽)

角倉 一朗 (音楽学)

田中悠美子 (日本伝統)

〔退任〕

橋本 玲子 (ソルテジ) 99

前田 綾子 (Fl) 111

中島 章雄 (音声学)

中野振一郎 (Com)

田中 智子 (Vo) 104

種谷 睦子 (Per)

料千円)又、大学院修了生から選ばれた方達の修了披露演奏会は、四月二二日(月)午後六時半より、ペガホールで開催の予定です。(入場無料)

音楽学部新人演奏会出演者			
(P)	長谷川千彰 (Fl)	櫻井恵里奈	中野 和子
	嶋川千佳	常石さやか	隆嗣 (民族音楽)
	奥野みどり (Vo)	西田真由子	角倉 一朗 (音楽学)
	武田 誠子	繁 祐貴子	田中悠美子 (日本伝統)
	柳 伸子	白井 絢	
	横田麻衣子		
	行森 美紗		
(Org)	大橋佐和子		
大学院音楽研究科修了披露演奏会出演者			
(P)	森本満穂子 (Vo)	鈴木さやか	
	谿 博子		
東京読売新人演奏会 5月4日(出) 東京文化会館大ホール			
(P)	横田麻衣子		
関西新人演奏会 5月11日(水) いずみホール			
(Fl)	常石さやか (Vo)	繁 祐貴子	
オルガン新人演奏会 4月29日(日) 武蔵野市民文化会館小ホール			
(Org)	大橋佐和子		
兵庫県新人演奏会 5月11日(土)、12日(日) 兵庫県民小劇場			
(P)	武田 誠子 (Fl)	櫻井恵里奈	
大学新卒推薦音楽会 4月21日(日) 西宮市民会館アミティホール			
(P)	柳 伸子 (Vo)	西田真由子	

会員の皆様へお願い

住所変更された場合は、必ず左記へお届けください。

三成育子

苗字変更はふりがなをお願い  
します。

65、109回の方は年会費千円  
をファンタジーだよりに同  
封の振込用紙で、ご送金く  
ださい。

尚、御自身の会費納入状況  
を知りたい方は、  
会計 大内山

までお問い合わせください。

本年度役員

- 会長 67岡田 晴美
- 副会長 86稲村 邦子
- 70高山 和子 84蓮江久美子(新)
- 90岩村 由紀 90松村美知子
- 91大内山裕美子 91植田あさ子(新)
- 93羽溪 慶子 93三成 育子
- 93三木 啓子(新)
- 会計監査  
70木村 季子(新) 81伊藤 秀子(新)

編集後記

皆様お元気でいらっしや  
いますか。昨年は、クラ  
ブファンタジー発足50周  
年を迎え、ファンタジー  
だより記念号発行、オ  
ーケストラを編成しての  
ファンタジーの夕べ、音  
楽館ホールへ椅子を寄贈  
と大イベントを何とかや  
り遂げる事ができ、役員  
一同ホッとしつつ、これ  
も会員皆様のお力の結集  
と心より感謝しておりま  
す。これから60周年に向  
かって、より多くのご意  
見を伺いながら、更に発  
展していきたいと存じま  
す。どうぞよろしくご協  
力をお願い申し上げます。

2002年度 クラス委員

53	鈴	77	新	岡	田	佐	保	99	新	山	本	貴	薫
54	シ	78		梅	野	安	見	100		神	座	利	惠
55	子	79		鳥	巢	佐	子	101		野	村	理	子
56	子	80	新	森	本	宏	喜	102		三	宅	裕	子
57	子	81		伊	藤	秀	子	103		岡	上	綾	子
58	子	82	新	野	田	準	美	104		村	岡	万	子
59	子	83		野	藤	和	子	105		福	川	由	子
60	子	84		佐	木	芙	子	106		長	口	佳	子
61	子	85		鈴	村	規	子	107		森	木	司	子
62	子	86		松	田	理	子	108		藤	川	華	子
63	子	87		横	内	真	子	109		森	木	美	子
64	子	88		川	川	玲	子	110		高	孝	美	子
65	子	89	新	津	木	三	子	111		井	上	美	子
66	子	90		元	津	よ	子	112	新	百	瀬	美	子
67	子	91		欄	中	陽	子	113	新	糸	川	千	子
68	子	92	新	上	田	紀	子	114	新	成	川	奈	子
69	子	93		河	見	千	子	115	新	音	西	洋	子
70	子	94		塩	廣	玲	子	116		大	和	彩	子
71	子	95		埴	田	賀	子	117		名	野	里	子
72	子	96		末	林	賀	子	118		平	見	荣	子
73	子	97		藤	沼	美	子	119		水		典	子
74	子	98	新	田	西	須	子						子
75	子			渡		雅	子						子
76	子			川		和	子						子